

文化庁「東アジア文化都市」 第 1 回国内候補都市に決定！

2014年、日中韓3か国において新たにスタートする『東アジア文化都市』事業の第1回日本国内候補都市に「横浜市」が選ばれました（文化庁同時発表）。

『東アジア文化都市』事業は、文化芸術イベント等の実施により、東アジア域内の相互理解と連帯感を形成し、東アジアにおける多様な文化の国際発信力を高めていくことを目指しています。事業開始年である2014年は1か国1都市の開催都市を定め、1年を通じてその都市ならではのイベントや日中韓3か国の共同事業を開催します。

既に開催決定している『ヨコハマトリエンナーレ2014』とあわせ、『東アジア文化都市』事業を通じて、横浜ならではの文化芸術イベントの開催、国内外への一層の発信を目指してまいります。

1 「東アジア文化都市」の概要

日中韓3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化から伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するもの。2012年5月の日中韓文化大臣会合にて、2014年1月からの開催が決定された。事業開始年の2014年は、日中韓で各1都市、合計3都市を選定。2015年以降は、2015年中国、2016年韓国、2017年日本の順に毎年1都市を選定（2018年以降も同じ順で毎年1都市を選定することを想定）。

2 開催時期

2014（平成26）年1月～12月

3 正式決定について

2013年中に開催される「日中韓文化大臣会合」において、日本・中国・韓国のそれぞれの選定都市が正式決定される予定です。

4 今後の事業の進め方について

2014年の開幕に向けて、文化庁と協力しながら事業実施の準備を進めていきます。

【林 文子 横浜市長コメント】

横浜市は、横浜トリエンナーレをはじめ、街を舞台に展開する「横浜芸術アクション事業」や創造都市施策など、文化芸術の力をいかした魅力あふれるまちづくりを推進してきました。

その熱意と実績が、このたびの「東アジア文化都市」候補都市への選出として結実したことを、大変光栄に思っています。

文化芸術には、人の心を豊かにし、経済や観光・MICEなど多様な分野と関わり合っ都市の活力を生み出す力があります。今後も、この文化芸術の力で、都市の魅力を一層高め、東アジア諸国との文化交流のハブとして、連携を一層力強く推進していきます。

お問い合わせ先

文化観光局創造都市推進部創造都市推進課長 奥田 裕之 045-671-4241

＜参考＞ 文化庁の公募概要

1 事業の目的

- ・様々な文化芸術イベント等の実施により、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進し、東アジアの多様な文化の国際発信力を強化する。
- ・当該都市が、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進し、事業実施を契機として発展する。

2 選定基準

中国、韓国をはじめ東アジア諸国との文化交流、文化都市、創造都市としての施策展開の実績及び今後の計画、実施される事業の内容等を考慮して選定

3 募集都市数

開催年の2014年は、日中韓各1都市、合計3都市を選定

4 事業内容

選定都市は、1年（1月～12月）を通じて、下記を内容とする様々な芸術イベントを企画・実施する。

- ・開会イベント、閉会イベント
- ・日中韓3か国の共同事業（共同制作公演や展覧会など）
- ・中核期間（1か月程度）を設け集中的に文化芸術関連イベントを実施。

5 募集の対象

市区町村

6 募集期間

平成25年2月15日（金）～3月15日（金）

平成25年5月20日

2014年「東アジア文化都市」の国内候補都市の決定について

この度、2014年「東アジア文化都市」の国内候補都市を、横浜市に決定しましたので、お知らせいたします（横浜市同時発表）。

1. 事業概要

「東アジア文化都市」は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日中韓3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものです。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指します。

また、当該都市がその文化的特徴を活かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、事業実施を契機として継続的に発展することも目的としています。

2. 開催期間

2014年（平成26年）1月 ～ 12月

3. 備考

今後本年中に開催される日中韓文化大臣会合において、中国及び韓国から提案される2014年の文化都市とともに正式に決定される予定。

<担当>文化庁長官官房国際課
課長 佐藤 透 (内線 2845)
国際文化交流室
室長 中野 潤也 (内線 3153)
室長補佐 土居 孝一 (内線 3166)
企画係長 内村 太一 (内線 2848)
電話：03-5253-4111 (代表)

「東アジア文化都市」の概要について

1. 事業開始年 2014年（平成26年）

2. 選定都市数

事業開始年の2014年は、日中韓で各1都市、合計3都市を選定。2015年以降は、2015年中国、2016年韓国、2017年日本の順に毎年1都市を選定（2018年以降も同じ順で毎年1都市選定を想定）。

3. 選定基準

中国、韓国をはじめ東アジア諸国との文化交流、文化都市、創造都市としての施策展開の実績及び今後の計画、実施される事業の内容等を考慮して選定。

4. 事業内容

東アジア文化都市に選ばれた都市は、事業の目的を踏まえ、1年（1月～12月）を通じて、下記の内容等に係る様々な文化芸術イベントを企画・実施。文化庁は事業実施に係る一部経費を負担。

- 開会イベント・閉会イベント
- 日中韓3か国の共同事業（共同制作公演や展覧会など）
- 中核期間（1か月程度）を設け、集中的に文化芸術関連事業を実施